



高知港長期構想検討委員会 第3回委員会資料

～高知港長期構想の策定について～

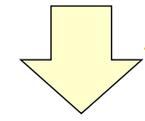
令和元年 9 月

高知県

背景

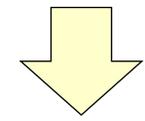
- 高知港の港湾計画は、平成12年度に改訂(目標年次平成20年代前半)してから**15年以上経過**
- フェリー航路の廃止やセメント工場の生産中止など港の状況は**大きく変化している**一方、近年外国クルーズ客船の寄港が**大幅に増加**
- 高速道路の延伸など、高知港周辺の**道路ネットワークが大きく変化**
- 三重防護事業など高知港における地震・津波対策が本格化
- 東日本大震災を踏まえ、大規模災害時における港湾の役割が変化

現高知港港湾計画
(H12改訂)



国際・国内
情勢の変化

高知港長期構想策定
概ね30年先の見通しや
動向を踏まえて策定



高知港港湾計画改訂
10~15年先を目標年次として策定

趣旨

- 概ね20~30年間の長期的な社会、経済情勢の見通しや地域の動向を踏まえ、港湾の長期的な発展方向を示す「高知港長期構想」を策定することを目的として、「高知港長期構想検討委員会」を設置する
- 長期構想を踏まえ、10~15年間を対象期間とする新たな港湾計画の素案を策定

対象期間

- 長期構想の対象期間は、概ね20~30年間(2040年~2050年)
- 港湾計画の対象期間は、概ね10~15年間(2030年~2035年)
- ◆ 長期構想:概ね20年~30年先の港湾のあるべき姿とそれを実現するための施策の方向性などを定めるもの
- ◆ 港湾計画:港湾法第3条に基づく法定計画。中長期構想が示す方向性を受けて、概ね10年~15年の期間に実現することを目標として策定するもの

1. 高知港長期構想の策定について
2. 高知港長期構想検討委員会の検討フロー

高知港長期構想検討委員会スケジュール

年度	委員会等	検討内容	その他
2018年	2018.11 第1回委員会・幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・高知港の現況 ・高知港の課題の抽出 	
	2019.2 第2回 幹事会 2019.3 第2回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回委員会での主要意見とその対応 ・港の将来像 ・港の将来像実現に向けた基本戦略 	
2019年	2019.8 第3回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回委員会での主要意見とその対応 ・長期構想素案 	パブリックコメントの実施
	2019.9 第3回委員会		
	2019.● 第4回委員会・幹事会 (予定)	※委員会での検討状況に応じて開催	
2020年	<港湾計画の見直し>		

項目	主要意見	対応
物流 ・ 産業	<p>■ 石灰石移出について</p> <ul style="list-style-type: none"> 石灰石は県の産業において重要な資源である。重要性を理解した上で長期・短期的観点を勘案する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には第2回委員会で示したとおり、高知港三里地区西工区において石灰石の取り扱いを行い、地場産業の競争力強化を目指します。 短期的には増産計画に対応していくため、メインバース(7-3岸壁)にて石灰石の取り扱いが行えるよう検討していく。 <p>⇒【基本戦略①】 「地域産業の持続的な発展や競争力強化に資する港湾機能の強化とふ頭の再編」の中で整理 ⇒短期的観点については資料4参考「高知港三里地区岸壁利用の方向性(案)」を追加</p>
	<p>■ 岸壁の増深について</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテナ船の大型化に伴い、港湾利用者の視点に立った港の活用方法を考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回委員会で示したとおりコンテナ船大型化に対応していくため、係留機能の強化を図っていく。 また、県内貨物を取り込むための集荷機能の向上を図るとともに、港湾機能の向上や物流サービスの向上により県内農林水産物等の輸出促進拠点の形成を目指します。 <p>⇒【基本戦略②】 「地産外商を支え、県内企業の国際競争力を強化するための国際コンテナ物流拠点の形成」の中で整理</p>
にぎわい	<p>■ クルーズについて</p> <ul style="list-style-type: none"> クルーズ船の増大に向け、ソフト対策とハード対策との連携が重要である。 	<p>クルーズ船の大型化、複数船寄港への対応を図るとともに、多種多様なクルーズ船の誘致方を検討し、寄港の定着化・増大を図り、客船寄港による経済効果拡大を目指します。</p> <p>⇒【基本戦略③】 「クルーズ船の受入機能や体制の強化によるクルーズ拠点の形成」の中で整理</p>
	<p>■ 賑わいについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客からのニーズに対応できる交通アクセス(小型旅客船等)の構想を考える必要がある。 賑い空間について具体的に進めていくうえで、人口減少社会の中での施設の維持、地域の理解や協議の場が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回委員会でも示したとおり小型旅客船ネットワークを構築し、各施設の回遊性の向上を図ることで新たな「まちあそび」の創出を図っていきます。 <p>⇒【基本戦略④】 「地域の魅力や観光資源を活用した賑わい空間の形成」の中で整理</p> <ul style="list-style-type: none"> 潮江地区の賑わい空間の形成の実現に向け、周辺施設等や関係機関と連携を図っていきます。 <p>⇒資料4参考「高知港潮江地区賑わい空間の形成について」を追加</p>
防災	<p>■ 高知県の防災拠点の1つとして</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災後の復旧・復興を迅速に行える港づくりにして欲しい。 	<p>耐震強化岸壁の整備、防波堤の粘り強い化を図るとともに、訓練等を通じて港湾BCPの充実を図り、防災拠点として復旧・復興に迅速に対応できる港を目指します。</p> <p>⇒【基本戦略⑤】 「安全な企業活動や安全な暮らしを維持するための港湾の防災機能強化」の中で整理</p>